

これまでの総合教育会議の主な成果について(H27年度設置以降)

協議テーマ	教育振興基本計画取組施策	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R3年度までの成果 今後の課題			
① H27 教員の多忙解消	・静岡型教職員多忙解消プログラムの推進 ・部活動指導員の活用			●校務支援システムの導入					【成果】 業務改善により子どもと向き合う時間の創出 ★校務支援導入前（H29年度比）事務作業270時間/人減少 【課題】 ・教員の魅力発信			
				●働き方改革プラン策定				●新プラン策定				
② H28 // (部活動の支援)			●部活動ガイドライン策定	●外部顧問の配置	●全面実施				【成果】 外部人材による部活動の質の向上 ★「専門的な指導が受けられた」92% 「活動の質が向上した」81% 【課題】 ・持続可能な部活動の検討			
			●9校	●17名	●25名	●32名	●35名配置	★部活動改革の検討				
総事業費				17,433千円	34,991千円	74,631千円	85,292千円					
③ H27 おいしい給食の提供と食育の推進 H29 日本一おいしい学校給食の提供	・食育の推進			●全国学校給食甲子園への参加					【成果】 静岡の食文化や地場産物への興味・関心の向上 ★「子どもが静岡産の食べ物を知っている」73% 【課題】 ・給食時のお茶の提供			
				●静岡ならではの献立の開発	●わくわく給食プロジェクト※R2はコロナの影響で中止			●わくわく応援団プロジェクト				
総事業費		5,623千円	1,197千円	91,566千円	0千円	74,865千円	87,422千円					
④ H28 静岡市ならではの人材育成 H29 グローバル人材のための魅力ある教育施策	・静岡型小中一貫教育の推進 ・地域学校協働活動推進事業ほか		●“学校・地域ひとつなぎコーディネーター養成講座”の開催	●G E Tの活用（小5・6）					【成果】 GET等を活用した英語教育指導体制の充実 ★「GETの授業でコミュニケーションを楽しんだ」93.8% 【課題】 ・小3・4年の外国語活動の充実			
			●静岡型小中一貫教育カリキュラム策定	●しずおか学副読本の作成	●英語を活用したコミュニケーション向上プロジェクト			●17時間/年		●23時間/年	●24時間/年	●35時間/年（週1回）
総事業費				322,314千円	275,483千円	289,46千円	367,368千円					
⑤ H30 不登校対策	・こころのケアの推進 ・困難を抱える子どもたちへの支援			●訪問教育相談員の配置					【成果】 相談体制の充実による不登校状況の改善 ★「訪問教育相談員が関わった児童生徒の状況改善」70.8% 【課題】 ・小学校への教育相談員の配置拡充			
				●不登校対応研修プログラムの確立	●活用ガイドラインの策定	●学校司書未配置校への教育センター司書兼務配置	●小学校への教育相談員への配置（校内サポートルームの設置）	●6校		●10校		
総事業費				80,599千円	88,658千円	120,392千円	85,292千円					
⑥ H30 学校図書館の更なる充実	学校図書館の機能強化と図書館における学校への支援の充実			●学校図書館支援室の設置					【成果】 学校図書館の平準化による授業活用の増加 ★授業の資料準備における学校図書館の利用状況小学校99%、中学校98% 【課題】 ・コロナ禍による不読率の増加			
				●オンラインレファレンスの開始								
総事業費				61,640千円	79,897千円	85,383千円	89,820千円					
⑦ R1 特別支援教育の充実	特別支援教育の推進			●静岡型35人以下学級の完全実施					【成果】 支援体制の整備による学力の向上 ★非常勤講師を配置した学級での「学習内容の理解が向上」36%、「授業態度が向上」50% 【課題】 ・自情学級の配置基準 ・医ケア看護師不足			
				●医ケア看護師の配置	●自閉症・情緒障害学級への非常勤講師配置			●1名		●2名	●4名	●4名
総事業費				160,300千円	180,761千円	197,914千円	235,379千円					
⑧ R2 外国につながる子どもたちの支援体制の充実	困難を抱える子どもたちへの支援								【成果】 日本語指導が必要な児童生徒への支援の充実 ★「学校が楽しい」92%、「授業が分かるようになった」83% 【課題】 ・学校・地域における共生教育の充実			
								●リーフレット作成		●多言語交流会	●プレスクールの新設	
総事業費				6,480千円	7,736千円	8,934千円	11,613千円					
⑨ R2 ICT教育の推進	学校教育におけるICTの活用								【成果】 端末活用による個別最適な学び、協働的な学びの実現 ★「学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う」小6：95.1% 中3：93.8% 【課題】 ・デジタル教科書等の導入による更なる指導力向上 ・日常的な持ち帰りによる家庭学習への対応			
								●情報教育支援室の設置		●ICT支援員の配置	●年間1,000回	●年間1,500回
総事業費				237,078千円	2,874,747千円	712,264千円	183,162千円					
					●一人一台端末配備							
					●小4以上	●小3+指導者分	●小1,2+指導者以外教員分					